

閉会中の

農林水産委員会（島田幸三委員長）

飼料用米の現状とメロン生産の状況を調査（5/17）

鹿島飼料(株)鹿島工場（神栖市）

鹿島飼料(株)は鹿島地域飼料用米利用推進協議会の会長を務め、配合飼料の原料に飼料用米を積極的に使用するなど、飼料用米の生産と利用の拡大を推進しています。

同協議会の活動や飼料製造における飼料用米の現状などについて説明を受けた後、工場の視察を行いました。



飼料用米の現状などについて説明を受ける委員の様子

ほこた農業協同組合（鉾田市）

ほこた農業協同組合では、県オリジナル品種である「イバラキング」など特徴あるメロンを生産し、徹底した品質管理と研究部による技術開発、差別化販売などにより、ブランド力アップを図り、メロン産地の維持・発展に取り組んでいます。

イバラキングの生産、販売などについて説明を受けるとともに、メロン生産ハウスを視察しました。



ハウスを視察する委員の様子

土木企業委員会（先崎光委員長）

県道桜川土浦潮来自転車道線整備事業と工場立地の現状などを調査(5/11)

県道桜川土浦潮来自転車道線整備事業（土浦市）

桜川土浦潮来自転車道線（通称：つくば霞ヶ浦りんりんロードの一部）は、桜川市内からつくば市、土浦市、かすみがうら市、行方市を経て、潮来市内を結ぶ自転車道です。このうち、土浦土木事務所では、つくば市からかすみがうら市までの約44kmの整備・管理を実施しており、これまでにつくば市から土浦市内の約20kmと、かすみがうら市内の約5kmが供用を開始しています。

今年度は、土浦市湖北地内から田村町地内までの延長約1.0km区間を整備予定であり、自転車道整備事業の概要について土浦土木事務所から説明を受けた後、現地調査を実施しました。



整備事業の概要について説明を受ける委員の様子

雪印メグミルク(株)阿見工場（阿見町）

同工場は、企業局が造成した阿見東部工業団地に立地し、5月現在で現地採用の契約社員などを含め524名が勤務する国内最大規模の基幹工場です。

同社のプロセスチーズやマーガリン類のほとんどを生産するとともに、阿見総合物流センターを併設することで、原料保管から生産、物流までを一貫して行うことのできる工場の概要について、説明を受けた後、施設の調査を実施しました。



工場を視察する委員の様子

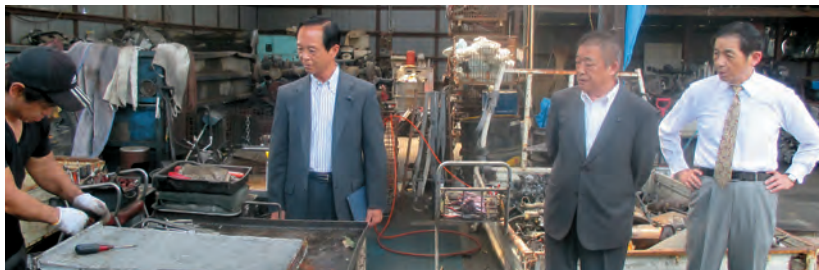
文教警察委員会（志賀秀之委員長）

ヤードの現状と授業におけるICT利活用の進捗状況などを調査（5/22）

境警察署（境町）

境警察署は、坂東市・境町・五霞町を管轄しています。管内のヤード数は、茨城県内にあるヤードの約2割を占めており、平成29年4月にヤード規制条例が施行されたことを受け、積極的な対策を行っています。

同署において、立ち入り調査の実施などのヤード対策の概況などについて説明を受けた後、ヤードの視察を行いました。



ヤードを視察する委員の様子

古河市立古河第五小学校（古河市）

文部科学省から教育ICTモデル校の指定を受け、平成27年度からタブレット端末が児童一人一台体制になるなどの授業におけるICT利活用の進捗状況、効果、課題などについて説明を受けるとともに、授業風景を視察しました。



授業を視察する委員の様子